

日本水環境学会第3回東北支部研究発表会報告

主催 東北支部
日時 2016年1月9日(土)
場所 東北大学青葉山キャンパス 総合研究棟1階講義室
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6
参加人数 50人

報告概要

発表申込みは東北6県からあり、口頭発表16件、ポスター発表8件、参加者50人で開催された。東北支部顧問の江成敬次郎先生、中村玄正先生、長谷川信夫先生及び支部長と幹事長が座長を務めた。本発表会は、学部生や若手研究者との交流や積極性を促すことも目的としており、学生等からの質疑応答をできるだけ促した。午後の6件が終わってから、ポスターセッション5件のショートスピーチ(2分以内)をして、隣室でのポスターセッションを約30分実施した。今回は初めてポスターセッションを導入した。件数は少なかったが会場は盛り上がり、密な質疑応答が繰り返された。その後さらに口頭発表を続けた。

発表終了後、座長を務めた5人の審査員により、優秀賞と奨励賞を決定した。発表の完成度、研究目的と結果、質疑応答などの視点で評価をして、下記のとおり、社会人・大学院生の部から優秀賞2件、奨励賞1件、学部生の部から優秀賞1件、奨励賞1件、ポスターセッションから奨励賞2件(ともに大学院生)の合計7件が選ばれた。

交流会には43人が参加した。支部長から審査結果が公表され、審査員を代表して中村顧問から審査経緯や講評をいただいた。研究発表のみならず、質疑応答への積極的な参加なども評価された。

次年度以降、開催地を他県へも回していくのかどうか課題はあるものの、開催意義が支持され、今後とも継続的な開催と交流ができることを期待したい。

【優秀賞】

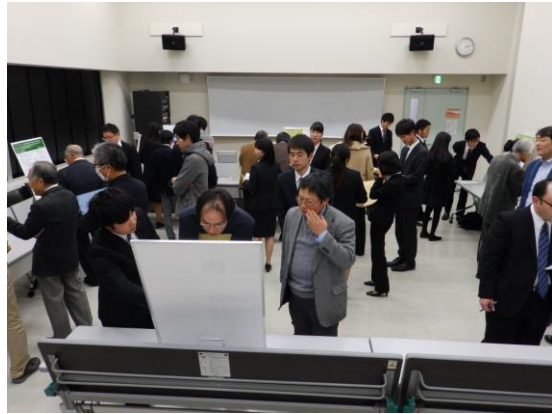
- ・紀佳淵(東北大学大学院環境科学研究科)
「一槽型アナモックスの脱窒反応プロセスに及ぼす曝気量制御の影響」
- ・齋藤四海智(宮城大学大学院食産業学研究科)
「アキアカネ保全を考慮した中干し時期の検討」
- ・長坂雄斗(岩手大学教育学部)
「ハンドドライヤーのドレンタンク内のバイオフィルム制御に向けた検討」

【奨励賞】

- ・花石竜治(個人会員・青森市在住)
「白神山地近傍の十二湖青池の色に関する研究(第2報)」
- ・秋田紘志(日本大学工学部)
「多段型人工湿地における6年間のリン除去性能の変遷」
- ・下河辺友貴(東北大学大学院工学研究科)
「下水処理施設のスタートアップにおける最適な運転制御手法の検討」
- ・宮井克弥(宮城大学大学院食産業学研究科)
「ドジョウを対象とした育苗箱施用殺虫剤の影響評価と評価手法の検討」



発表会場の様子



ポスターセッション会場の様子



表彰者との記念撮影



交流会の様子

(文責)
東北工業大学 山田一裕